

日本クリスチャン・アシラム連盟

# 日本アシラム

United Christian Ashrams of Japan

冬季号

開 心  
静 聴  
靈 交  
充 満  
奉 仕

連盟は創始者の祈りが聞かれ、力と互助の交わりである。

に誕生したアシラム兄弟の群の全国的協

福音の忠実な証し人

## ゴルドン・ハンター師への感謝

海老沢 宣 道

今秋はカナダから故ジョーンズ博士の後継者として国際アシラム連盟の委員長、ゴルドン・ハンター師を迎えて各地に恵み溢るる霊会を催すことができ感謝に耐えない。同師はカナダのビリー・グラハムと言われる大伝道者であるが、アシラムにおいて拝見した彼の働きは、ひたすら主イエスを招き直接に主が参加者に語りかけ手をのべて新生を体験させたことであつた。アシラムは特定個人を中心にしてないので、各地の委員も礼拝、静聴、聖書霊解、分団などの責任を分担した。同師は各地の委員と全く一心同体になって、聖霊の降臨を祈って下さった。その結果が今回の恵みとなつたので、各地の報告と参加者有志の感想文によく表現されている。

『イエスは主なり』を実験するアシラムは、教職信徒の別は勿論、教派、人種、階級の別もなくして共に主の御前に静まって御声を伺うのである。従ってハンター師に対しても言語以外に何らの障壁を感じることなく、兄弟の交わりがなされた。師は日本アシラムが常にサト・タルの精神を忘れず、世界各地との連絡をとり、決して自己流に墮せず、アシラムの名に忠実であることを希望しておられたが、その期待に答えることによ

って、彼が今回一ヶ月を日本のためにさき、連日休まない援助をして下さったことに対して、真実に感謝の実をみらせることではないか。

師の近著を一冊頂いたので読んでいるが、『垣根が倒れ落ちる時』という題名が示すように、和解の福音を中心にしたアシラム精神を高揚する書である。何れ何らかの形で紹介したいと思う。師は今一つ私に下さつたものがある。それは三本指の印が刻まれた『アシラム・バッジ』である。日本アシラムの兄弟は全部これを常に胸につけて、お互いに主にある兄弟としての交わりを深めるようにいたしたい。希望者は地区委員に申込んで頂きたい。

以上ハンター師が日本アシラムの堅実な成長のために尽して下さつた数々の厚意に対して心からの謝意を述べる。

### 各地からの恵み溢るる報告

#### ○九州アシラム

九月二四日より二六日、福岡市西南学院大学の家で、G・ハンター師を迎えて開く。集る者四〇名、開会礼拝、司会野口師(バプ連盟)説教山本繁夫師(教

団)『今日信仰や教会が激しく問われている時、教師の辞任、教会の閉鎖などありとときく時われらは徹底的に神に聴くために相集る意義は大きい』と語る。

午後三時、ハンター師は『アシラム』の説明から、開心の手本を示され続いて二六名が真剣なニードを述べた。夜は四つのファミリーで更に各自の問題を語り合い、続いてハンター師から『僕の霊でなく、子としての霊を受け、主に属し、主との人格的關係をもつこと』を学ぶ。

第二日早朝はコリント第二ノ四章を黙想し、互に分ち合う。『聖書の時』にギャロット師はマタイ二三章を鏡に写してその反対を考え、神に仕えるものとして十二項目を挙げ明解に説かれた。続いてハンター師は『人生全般が神の賜であり礼拝と奉仕と証しは特権である』ことを教えられる。勤労の時は会場の内外を清掃し、夜の証しの時には林田金弥師(バプ)萩尾楯子婦(教団)富永静男兄(教団)古川良男師(バプ)がよい立証をされた。続いてハンター師は『イエスこそわれらの主である』と強調、二十数名のため特に按手の祈りをして下さる。

第三日早朝はコリント第二ノ五章を黙想し互に分ち合う。聖書の時にはギャロット師が信仰生活の力につき語る。充滿の時には初めにハンター師から四つの基本『唯一の主に委ねること、十字架、復活、聖霊の力が与えられていること』を学び、『レギオンにつかれた男は主の足もとに坐し着物をきて正気に帰った。』

発 都 町 田 編 沢 発 瀬  
東 京 原 古 海 老 高 定  
江 原 古 海 老 高 定  
江 原 古 海 老 高 定  
江 原 古 海 老 高 定

さあ感謝と決意を語ろう」との呼びかけに待っていたのばかり三十数名が『イエスを中心にしていなかった』『レギオンは私だった』など素晴らしい証言が次から次へと続いた。通訳は終始、西南大学の田中文学部長が当って下さった。

閉会礼拝は平野七作師(教団)『常に共にいると仰せられる主と共に十字架を負い、地の極まで証人となる』と奨励され、感謝をもって終った。簡単な報告ですが、内容のすばらしさは参加者の証言で明白、現代の教会に極めて根元的なキリストとの関わりを体験させられた点において高く評価されます。

(委員長 山本繁夫報告)

### ○四国アシユラム(第八回)

去る九月二七〜九日に開き、参加者は四七名でしたが、とても恵まれ、これ迄の何れのアシユラムより深くほり下げたと思います。二九日夜は松山済美会館で伝道会、八〇名出席、三十日礼拝は松山協同教会で守り、九八名の礼拝者でした。

(委員長 宇都宮充報告)

### ○関西アシユラム(第八回)

十月四日〜六日有馬陵楓閣にて開会、説教中路師、開心の時ハンター師、夜は中路さんの時と祈り、早朝静想は、金牧師の指導、第二日朝と夜にハンターの時、労作、分団、夜の祈りは杉田師、第三日朝の静想は古河牧師、充滿の時は中路、

閉会礼拝は後宮師が担当した。

多くの超教派の大集会に協力する運びとなり、出席者五四名と未曾有の少数、ハンター師に相すまぬと思った。と言って私たちの祈不足を感じる。真剣で信仰経験の豊かなハンター師の将来に期待。謙虚な彼は私たちの話にも感激していた。土山兄は終始忠実に通訳してくれた。充滿の時には多くの決断がなされ、深い感動の絶対服従に、喜悅と希望を抱き日本式アシユラムに期待、再会を約して別れて行った。(委員長 中路嶋雄報告)

### ○関東アシユラム(第十二回)

十月九日〜十一日にかけて、イザヤ五七ノ一五を主題聖句として、奥多摩古里の福音の家で開く。開会礼拝(中村武師)開心の時(ハンター)十分団にて更に各自のニードを述べ合い、夜ハンターの時『恵みと感謝の生活』を教えられ、第二日早朝の静聴(ハンター)でコリント第二ノ四章を共に分ち合い、主題講演(ハンター)で『僕か息子か』についてロマ八ノ一四につき教えらる。午後の聖書の話(岡田実師)分ち合いの時、夜はさんびの時(和田健治氏指導)と医しの時(ハンター)にはいよいよ聖霊の迫りを感じ、数十名が前座にひざまづいて按手の祈りを受け、献身の決意を表明した。

第三日の静聴(高瀬恒徳師)で御声をきき、充滿の時(横山師)には続々と感激溢れる立証がなされた。通訳は小出師(三回)海老沢(二回)担当。一同今ま

でない新しい恵みを受けたと感謝し、明年の再会を約束し合って散会した。参加者は九〇名で予定より少なかったが、その約半数が新しい参加者としてアシユラムを体験して頂けたことを嬉しく思う。

### ○道南アシユラム(第四回)

十月十八日〜二十日にかけて函館千歳教会を会場にして開きました。秋の研修や出張の多い時で出席やや少く四〇名でしたが、メンバーが大体きまり途中の出入がなく反って密度の高い集いになりました。参加者の準備もできていて、今までの四回の中、最も霊的なアシユラムになり一同口々に実によい集りであったと申されて感謝です。この経験によって日々新しい証しのできる信徒が育ちつつあり今後、信徒の証しによる家庭集会ができるようになることを祈っています。ハンター師は二日朝、福音教会でも霊感溢れる説教をされて東京へ向われました。連盟の委員方よろしく。

(委員長 白川鄭二報告)

### ○城北アシユラム(第二回)

十月十六日東京池ノ上教会(山根可式牧師)で、新宿西、江古田、西川口の協賛の下に一日アシユラムを開き、ハンター師に午前と午後にお話を願った。参加者は七五名で予想以上に多く、大いなる恵みを受けた。朝はエペソ書四章、午後

はルカ伝一五章について、多くの実例をもって判りやすく主の導きに従うべきことを説かれ、一同感謝に溢れ、いよいよ献身のまことを捧げたいと決意して各々の教会に帰って行った。池ノ上教会の兄弟が大変なお骨折りの上、二回の講演を録音から騰写印刷して二十頁の冊子にまとめて下さったことは有難いことである。尚、第三回城北一日アシユラムを来る一月十五日(火)江古田教会で開くので多数参加を祈っている。

### 感謝 謝 録

九州アシユラムに参加して

佐賀教会 富 永 静 男

開会礼拝で山本委員長から、アシユラムの主旨が説明され、此処では先生と信徒の別や、考若男女の区別なく、みな裸になって神の前に立ち、祈りにより聖霊によって、おかに主に聴き、学ぶ会であるとのお話しを聞いた。少々常識はずれの感もないではないが、よく考えてみると、それが真に主を信じる者の集りだと思ふ。参加者の三割が教職であり、高度な集りにならないかとの気がかりもないではなかったが、この点でも、みな平等に、若い人も、女性も歩調を合せて学ぶ事が出来た。開心の時、心を開け渡たし、聖霊を迎え入れて感謝であった。又毎朝の静聴の一時間は益するところが多かった。人間お互いが話し合いの出来難い現代、まず、神との対話により自ら

### アシユラムの五大原則

(一) キリストへの明渡し

(二) 御言への静徳と立証

心整えられることは、今後のた  
よいことであった。

この集りのために労苦して下さった諸  
先生方に心から感謝しています。

バプテスト若松教会

吉田 敬太郎

スタンレージョーンズ博士が昇天され  
た後もアシュラムが、どうか継続され発  
展されますよう祈って今回の九州アシュ  
ラムに久方ぶりに参加させていただき、  
大きな恵みによくした事を厚く感謝して  
おります。よき講師、よきお世話役と熱  
心な兄弟姉たちによって楽しい会合が恵れ  
ました。特に私に取って感銘の深かった事  
は兄弟姉による素晴らしい証しの数々でし  
た。難を申せばお互に聖書の読み方がま  
だまだ不足しているのではないかと思わ  
れたことです。

大牟田正山町教会

萩尾 楯子

かねて、ヨハネ四章一四一六におけ  
るイエス様とスカルの女との問答に大変  
執着させられていて、自分とは何か？と  
問われ続けていた。それでこの度の九州  
アシュラムには非常な期待をもって参加  
したイエス・キリストを指導者と仰ぎ、  
終始、「聞くこと」に徹する神との交わ  
りの中に私は全く打ちのめされる思いが  
した。最後にもたれる「充滿の時」に私  
の魂は渴きの頂点に達し、溢れる涙は止  
まらない。

私は申しあげた。「受洗後六年の間、  
イエスをキリストと信じているつもりで  
あった。併し、私の心の王座には自分が  
デンと居坐っていたのを只今、はつきり  
と知る事ができた。それでも尚、こうし  
て許し生かして下さる主の御愛がも  
つたいない。始めて聖書を手にした時の  
あの驚きにたち返り、今後、朝晩、聖書  
を読み、祈り、神との交わりをさせて頂  
くことを誓います」と。  
聖霊の御助けをひたすらに祈る者であ  
る。

小倉鍛冶町教会

津田 恵子

私は霊的に成長させられたいと願って  
いました。御霊に満されるということ  
何か特別な顕現とか、感情的な経験を与  
えて下さること信じいつも感情を求め  
ていました。しかし、神様は聖書を通し  
先生方の口を通して見るところによって  
ではなく、信仰によって歩むようにと示  
して下さいました。まず第一にイエス  
は主なりと告白し、自分を神様に明け  
渡すことにより神様の御心が何んであ  
るかを知り、最も大いなるものゝ愛を追  
求めなさいと示され感謝です。アシュ  
ラムでは、開心の時・充滿の時とお互  
いに求めるところを神様に告白し、与えら  
れたことを証しすることは、すばらしい  
形式だと思えます。なお一層神様の働き  
が、一人一人の口を通して現われたこと  
だと思っています。お互いに与えられた

ものを、分ち合えたようです。聖書にあ  
りますように、人知ではどうも測り知  
ることのできない神様の平安が、イエス  
様によって守られていると思います。

バプテスト西戸崎教会

林田 金弥

日常の事務に、あるいは食わんがため  
の仕事に、まるで熱病にかかっているか  
のように、よく働き生活に追い回され  
ている。これでよいのか。

あるユースホステル理事長は、現在の  
仕事の外に、本当に打ちこめる仕事―そ  
れは学術研究・芸術創作等―を持てとい  
う。

ジョゼフ・バーゼルは、週末、森の中  
または海浜での一・二時間の瞑想をすす  
める。

デニス・ガポールは、その著「成熟社  
会で、全人教育すなわち生涯教育を説い  
ている。

アシュラムは、まさに、これにこたえ  
るものだ。そして、われわれは、平常が  
アシュラムの如く、アシュラムがわれわ  
れの平常でなければならぬと思う。聖  
書(マタイ六・三三)には、「まず神の  
国と神の義とを求めなさい」とある。

関西アシュラムに接して

大阪東教会 宮本 達之助

十月一日大阪朝禱会に出席した時、中

- (三) 聖霊の啓導と充滿
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

路先生(扇町教会)にお目にかかり、四  
日から六日の有馬アシュラムに出席をす  
すめられました。

一度出たいと願っていた所に先生のお  
招きを頂き感謝して参加させて頂きまし  
た。私は本年八十歳昭和の初めに日基教  
会で受洗四十六年の教会生活、大阪朝禱  
会では第一回生として参加いたしました。

アシュラムに出席して集る兄弟姉妹の態  
度からして他の集会とはまるで異なる感じ  
を受けました。ハンター師の御話に次い  
で中路先生のみ霊溢るるみ言葉、遂に先  
生も泣かれ私も泣いてみ霊に満たされた  
には只感謝あるばかりでした。この時に  
一大決意を与えられました。「まず神の  
国を神の義と求めなさい。そうすれば  
これらのものは、すべて添えて与えられ  
るのである。あすのことを思いわずら  
う。あすのことはあす自身が思いわずら  
うであろう。一日の苦勞は、その日一  
日だけで十分である。」(マタイ六ノ三三  
―三四)教会生活を本気でやる今、家で  
やっている家庭集会をして教会にまで発  
展せしむる。ここに全世界の救われる道  
があると導かれ感謝いたしました。

一輪の花

東京神田聖公会 小島 てる子

神様のお恵みを深く感謝申し上げます  
神様の御前にお願ひ申し上げたいことは  
次のことでございます。

私の縁談は未信者の人でした。未信者

の人のところへ嫁いでもいいものか、どうなのか悩みました。私は毎日祈り御旨を示していただきました。それはその家庭に嫁ぎその人達を救いに導いてあげればよいのではないかとということでした。その家庭の宗教は天理教のわかれのようなもので「ほんみち」といいます。家族はとても熱心で、大阪の本部へ年に数回は通い、教えを受けて来るのです。私はその姿を見て一日も早くまことの神様を信ずる信仰に転換して頂きたいと日夜祈りつづけております。

そしてこのアシュラムに来て感じたことはまず自分が溢れる恵みをいっぱい受けて、その欲びを分け与える人になって、無言のうちに、自然の感化を与えていかねばならないこと。又主人を愛しぬき、キリスト教の幸福を示すこと。又キリストを信ずるがゆえに、愚かな者となれというみ言葉をも示され、相手のものを見下げたりせず大切にしてい行かねばならないということも教えられ神様に力づけて頂いたことを、深く感謝致しております。

### 牧師夫人

西川口教会 横山 静子

私は主の恵によって、「牧師夫人」という使命を与えられています。けれど「牧師夫人」という一つのわくを通して人々に見られるし条件もつけられます。自分も何とかその条件にかなう者になり

たい、人からよく言われたい、と望むようになり、袖の前にきよきを求めるのでなく、人の前に自分をきよく見せようする自分のみにくき、高慢さを最近教えられました。「主よこんなみにくい弱い者です。どうぞよろしく願います」とあけわたした時、そのわくはこわされ自由となりました。されど、もっと深い主との交りがほしいのです。主とかしこまった間柄でなく、もっと自由に楽しく、いきいきと、主の御声をききつつ歩んでいきたいと願って、アシュラムに参りました。

### 韓国ソウル市にも

### アシュラムの灯ともるか

去る十一月六日山根可弑師の旧知でソウル市恩城教会牧師の呉万植師が日本アシュラム連盟事務局に来訪され、アシュラムの起源から本流について種々質問され、諸資料を差上げた所、ぜひ今後も連盟及び国際委員会との連携の下に、韓国でも正しいアシュラムの灯をともしたいと言われ、共に祈り握手をして別れた。

どうか愛する隣国の兄弟たちも呉牧師の祈りに和して、よいアシュラムが開始されるよう同志の御加禱を願う次第。

### 第四回連盟理事会

明年二月一日(金)、二日(土)にかけて東京目黒みやこ荘に開催。新年度の全国計画を立てる予定、御加禱下さい。

### 創始者ジョーンズ博士記念

### 三大事業への献金募集中

### 日本アシュラム兄妹の協力を

故スタンレー兄弟にアシュラムを教えられた世界の友は、博士が生前希望された仕事の中から左記三つの計画を記念の事業として協力実行することに決定、予算六〇万ドルを計上した。

- ▼第一、世界アシュラム・センターをガリラヤ湖畔に建設。
- ▼第二、アシュラム未開の国々への活動費。
- ▼第三、発祥地サト・タルのセンター強化とクララ・スエイン病院の増築。

日本連盟はこれに参加して博士への感謝を表わしたく、目標を一万ドルとして全国アシュラムの兄弟に訴えている。

◎送金方法 成べく振替東京五〇二五九(名義、江古田教会)利用、通信欄に「ジョーンズ博士記念事業献金」と明記して御払込み下さい。

### 記念事業献金報告(一)

(一九七三年九月—十一月末)

- ▼十万円 第七回今治アシュラム
- ▼五万円 大宮前教会(東京)
- ▼二万円 同 教会(〆2)
- ▼二万円 山本一雄(目黒区)
- ▼一万円 那倉一夫(救世軍) 関東ア
- ▼〆〆〆 垂水教会(兵庫) 関西ア
- ▼〆〆〆 桑山梅子(関西アシュラム)
- ▼〆〆〆 マルサ・ラマース(盛岡)
- ▼〆〆〆 山根 可弑(池ノ上2)
- ▼〆〆〆 五味 明子(西川口2)
- ▼五千元 同 (3)

▼五千元 辻中 昭一(扇町) 関西ア

▼〆〆〆 滝井勲四郎(関西ア)

▼〆〆〆 道南アシュラム(2)

▼〆〆〆 千葉 久江(平塚)

▼〆〆〆 新宿西教会(関東ア)

▼三千元 佐藤 堯(赤羽2) 金元 治

▼二千元 文英順(関西ア) 名畑貞子(江古田)

▼〆〆〆 原奏子(川口) 香里教会

▼〆〆〆 佐々木のぶ(東京北区)

▼一千元 杉田常夫(香里) 中西典彦(香里)

▼〆〆〆 牛島信義(川崎) 志村卯三郎(杉並)

▼〆〆〆 水田政義(北九州) 奈倉正子(江古田)

▼〆〆〆 伊津野左千雄(江古田) 後宮俊夫(京都)

▼〆〆〆 渡辺高德、浜口福子、東島鷹次、柳原喜三郎、山部素子、鶴西清和、宮本達之助、渡部清数、塚田正二

▼〆〆〆 奥山スエ子、安藤恒次、奥井みつ子、平方いく、寺西永次、柴野文枝、清水潔、吉川春子、吉村マサ子、吉田文字

▼〆〆〆 (以上関西アシュラム)

▼五百円 阿部義雄(池ノ上) 沢田一雄(江古田)

▼〆〆〆 五百円 仁戸田寿子(江古田) 野々村豊治(千葉県) 滝沢みおる(関西ア)

▼二百円 筒井亨子(関西)

▼〆〆〆 一百円 吉川政子(〆)

▼〆〆〆 合計五七〇・金三三三、八〇〇円

累計 金九二四、二〇〇円

以上御協力を賜り心より感謝申上ます

但し尚目標まで漸く三分の一に達した所

です。各地区において御勧誘を願います

### アシュラム兄弟の必携品

○アシュラム・バッジ一個一五〇円

各地区委員会へ代金共申込む事

○「アシュラムとは何か」(30円)

○「一日アシュラムの守り方」同

○「地区アシュラムの手引」(50円)

何れもジョーンズ博士の執筆

○ハンター著『壁くずれ落ちる時』

(英文版)一冊七五〇円下別

所野区  
-19-12  
会気付  
人宣 人恒  
30円